

報道関係各位

## 2015年のオークション状況 －取引量、落札額の変動－

国内最大級のショッピング・オークション一括検索・比較サイト「オークファン (<http://aucfan.com>)」を運営する株式会社オークファン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:武永修一、以下、「オークファン」)は2015年の市場の調査を行いました。調査対象は2014年1月1日～2015年12月31日に落札されたインターネットオークションの情報を元にしております。

### 1 背景

2015年はインターネット上での個人間取引の市場に大きな変化がありました。今まではインターネットオークションが個人間取引の主な手段でしたが、2014年からいわゆるフリマアプリと呼ばれるスマホを使った個人間取引が増加していることは他の調査結果などから言われているおります。そのような状況の中、インターネットオークションでの取引がどのような傾向にあるのか調査しました。

### 2 利用データ

今回調査には2014/01/01から2015/12/31までの複数のインターネットオークションサイトの取引データを利用しております。

#### 2.1 取引数

取引数は2014年に比べると2015年は3月以降で2.3%から7.17%ほど減少しています。月ごとの遷移を見ると2014年と2015年で目立った変化はありませんでした。

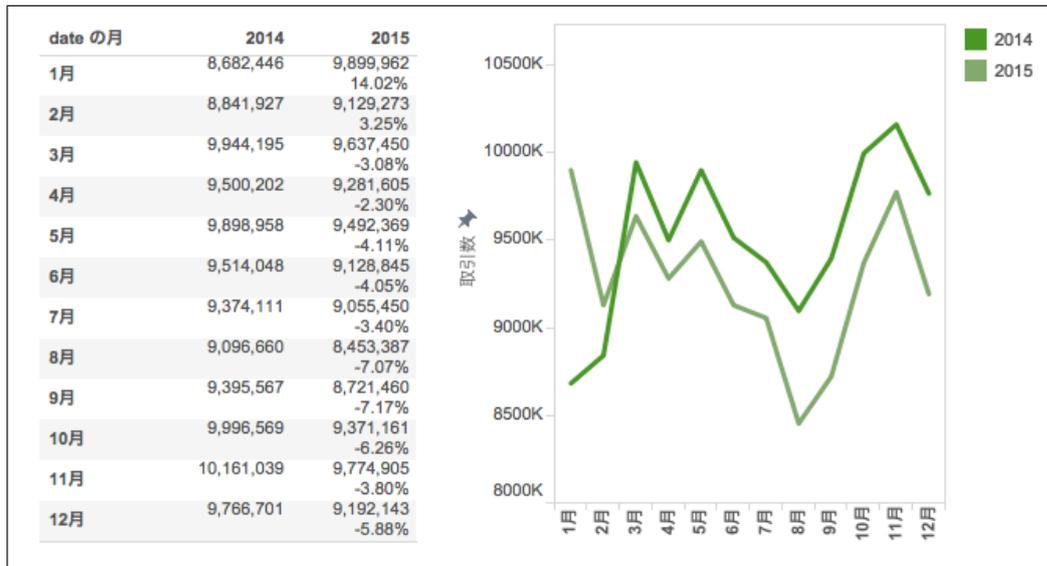


図1 取引数の遷移

## 2.2 流通額

流通額については取引数とは反対に 2015 年は 12 月の微減を除き 1.58% から 20.23% 増加しています。

月ごとの遷移に関しても取引数同様 2014 年の遷移とくらべ特異な点はありませんでした。

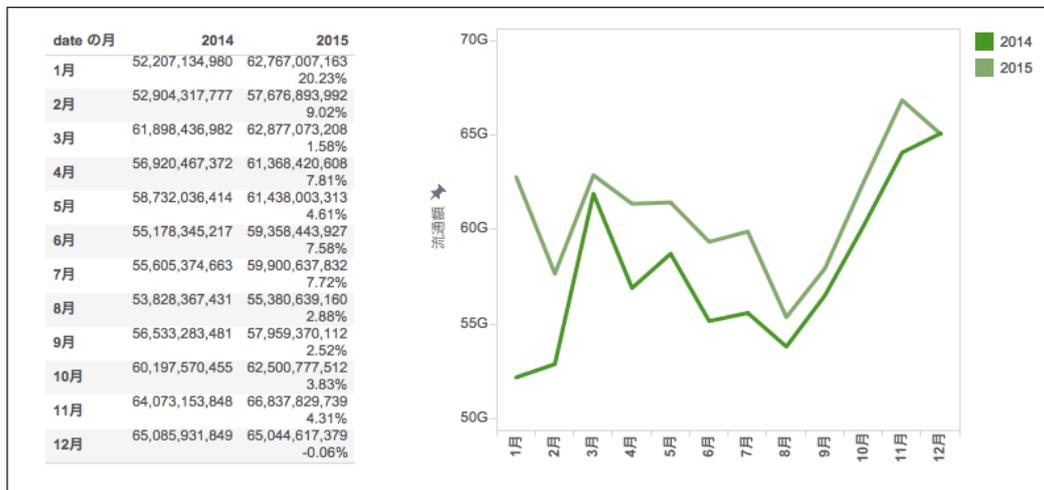


図2 流通額の遷移

## 2.3 平均落札額

取引数が減少しているにもかかわらず流通額が大きくなっていることから推定出来ますが、平均落札額は2014年に比べ2015年は1年を通して4.8%から12.1%の増加をしています。

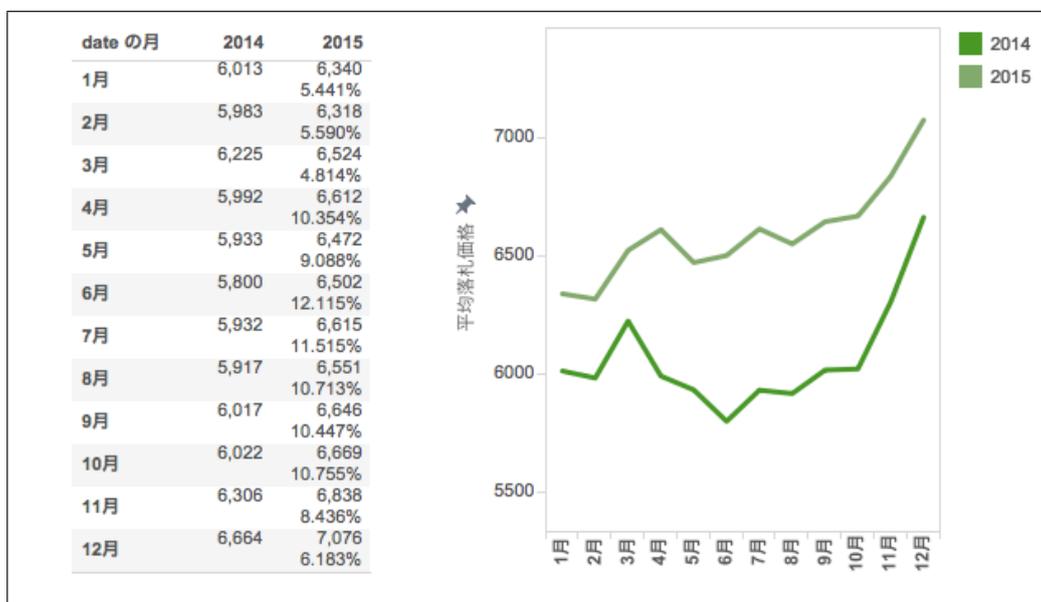


図3 平均落札額の遷移

## 2.4 出品者数

出品者数は取引数と同様に前年と比較して、最大で7.17%減少しています。

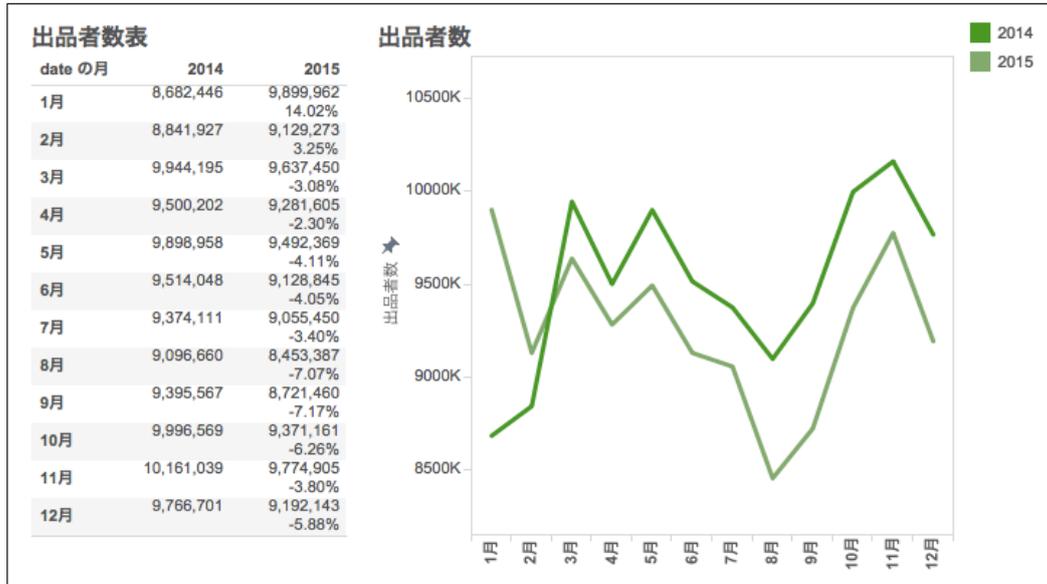


図4 出品者数の遷移

## 2.5 落札価格の分布の変化

取引数は全体的に 2014 年に比べ、2015 年は減っていますが、落札価格帯を見てみると、減少しているのは 2 万円未満の取引となっており、2 万円以上の取引については 2014 年に比べ 2015 年は増加しています。

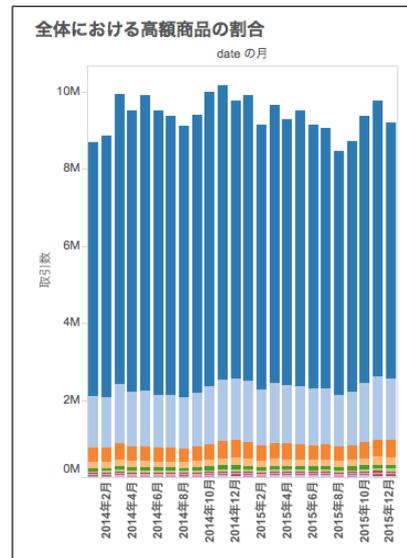


図5 落札価格の分布の変化

### 3 調査結果

上記のデータから、取引数は減っており、流通額、及び平均落札価格は上がっているということが、そして2万円以上の取引については前年に対し増加傾向にあることがわかりました。

2015年のインターネットオークションの動向としては、高額なものの取引に利用されるようになってきた事に加え、低価格のものの出品が減少したことが読み解けます。

フリマアプリの普及と合わせて考察すると、インターネットオークションでの市場の動向として、単価の安いものは手軽に出品できるフリマアプリを利用するようになり、もう少し単価のいものはインターネットオークションを利用するという構図が出来上がっているのではないかと推測できます。

また、フリマアプリから個人間取引を始め、オークションを利用するようになる人も今後増えてくる可能性があります。そのような状況の中今後フリマアプリとインターネットオークションの間で金額的な差別化が行われていく可能性があると考えられます。

---

#### <本文中のグラフ利用に関して>

レポート中に存在するグラフなどの素材については、メディア企業の皆様に対しては無料にて配布していますので、下記までご連絡いただければと思います。

#### <調査結果レポートとは>

当社が独自に調査・分析をし、不定期にリリースをするレポートです。

今後も当社は、ネット業界のみならず、日本経済・社会の現状把握につながる様々な調査を実施して参ります。

#### 【株式会社オークファン】

国内最大級のオークション一括相場検索・価格比較サイト オークファン <http://aucfan.com/>

株式会社オークファン コーポレートサイト <http://aucfan.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

広報担当：蛭田 TEL:03-6416-3652 Mail:pr@aucfan.com